

バットィスタ： イタリアの専用アトリエで生産進行中



- アウトモビリティ・ピニンファリーナ (Automobili Pininfarina) の設計・エンジニアリング・開発の拠点であるイタリア・カンピアーノの専用スペースで世界初のピュア EV ハイパーGT「バットィスタ」の生産が進行中
- バットィスタを手作業で製作するために隔々まで刷新された「バットィスタアトリエ」スペースにオーナー専用のコミッションングラウンジを併設
- アウトモビリティ・ピニンファリーナのデザイナーとクライアントとの緊密な共同作業から生まれる独特のビジョンをカタチにするため、1台のバットィスタを最長 1,340 時間かけて手作業で製作
- 1,900PS 超の出力と 2,340Nm のトルクを生み出すバットィスタは史上最強のイタリアンスポーツカー。世界中のクライアントのために限定 150 台を製作。
- アウトモビリティ・ピニンファリーナのパー・スヴァンテッソン CEO のコメント:「創業者であるバットィスタ・"ピニン"・ファリーナは自らのブランド名を冠する美しいクルマを製作することを夢見ていましたが、ハイパーGT『バットィスタ』によ

て、その夢が遂に実現しました。そのことを誇りに思うとともに、我々が新たなラグジュアリー時代へと突入するムーブメントの先頭に立っていることを感じています。デザインがピュアであること、そして持続可能なイノベーションを重視することを通し、アウトモビリティ・ピニンファリーナは今後も驚くべき新たなクルマをカタチにしていきます」

- 新たなアトリエで製作される初の量産車バットィスタをクライアントによる初テスト走行中にモナコで撮影
- [画像および動画のリンク](#)

(2022年7月13日、イタリア・カンピアーノ) 世界初のピュアEVハイパーGT「バットィスタ」の生産がイタリア・カンピアーノに新設された専用の「バットィスタアトリエ」にて開始されました。このアトリエはイタリア・ピエモンテ州にあり、イタリアンラグジュアリーカーメーカーとしてスタートを切ったアウトモビリティ・ピニンファリーナの物語はエキサイティングな新章に突入しました。

賞にも輝いたバットィスタは、2,300平方メートルの専用アトリエにて職人達の手によって限定150台が製作されます。また、バットィスタのオーナーはワールドクラスのカスタマーサービスを楽しむことができます。アウトモビリティ・ピニンファリーナの[グローバルリテラーネットワーク](#)に参加するラグジュアリーパートナー25社と、アウトモビリティ・ピニンファリーナのクライアントリレーションズのスペシャリストがクライアントをサポートします。

アウトモビリティ・ピニンファリーナのパー・スヴァンテッソン CEO は次のように述べています。「受賞歴のあるバットィスタを量産車として製作するチームを率いることができ、大変誇りに思います。2018年にローマでアウトモビリティ・ピニンファリーナを立ち上げて以来、我が社は世界20か国から118名の専門家を招集し、チームを築いてきました。現在はミュンヘン本社と創業の地である北イタリアに国際色豊かな『ファミリー』が形成され、デザイナー、エンジニア、車両開発のスペシャリストらが革新的な未来のクルマづくりに携わっています」

「この素晴らしいファミリーはここ数年にわたり、バットィスタのオーナーの皆様にご満足いただくことに精魂を傾け、極めて困難な課題を克服してきました。バットィスタを納車する今年は、自動車の設計・技術の大いなる前進の年となります。バットィスタのオーナーの皆様には、とてつもない満足感と極めて貴重な体験を同時に味わっていただけることと思います」

現代の技:バットィスタの製作工程

アンドレア・ノヴェットロは多様な人材が活躍するファミリーの一員として、アウトモビリティ・ピニンファリーナのプロダクションディレクターを務めています。アトリエのある場所は、ノヴェットロの祖父が数十年前に勤務していた場所でもあり、祖父の知識や技術はバットィスタの製作に受け継がれています。

ノヴェットロはこう述べています。「バットィスタアトリエはイタリア史上最強のクルマを製作するために改装された施設であり、歴史とインスピレーションに溢れた刺激的な場所です。ここでは先端技術を活かしたコンポーネントや材料を用い、品質保証プロセスを導入して、バットィスタのドライビング体験と同じように刺激的なオーナーシップ体験を提供します」

バッティスタアトリエは計 14 の生産ゾーンと品質保証ゾーンに分かれています。何台もの取付装置を特注で新規製作するなど、現代的技術を取り入れつつ、バッティスタの細かなネジ類はエアドライバーによる締め付けで精度を確保するという昔ながらの方法や工具も活かし、この場所で受け継がれてきたコーチビルディングの伝統が息づく製作工程となっています。

バッティスタの製作には 10 週間かかりますが、「バッティスタ・アニヴェルサリオ」の場合は手塗りで仕上げを含め、トータルで 18 週間かかります。1 台のバッティスタは 10 人の職人が 1,250 時間以上かけて製作します。バッティスタ・アニヴェルサリオは特注デザインの装備と仕上げが必要となり、最大 1,340 時間かかります。

最初のゾーンに送られてくるのはバッティスタのローリングシャーシです。このローリングシャーシは電動パワートレイン、T 字型バッテリー、カーボンファイバー製モノコック、電気系統全体で構成されています。このゾーンではアウトモビリ・ピニンファリーナの厳格な品質標準に従って評価が行われ、その状態が記録されます。バッティスタはここカンピアーノで、電子制御された多くのゲートを通過して完成に至りますが、その最初のゲートがここになります。

続いて、下塗りされたホワイトボディがモノコックと結合され、バッティスタの姿が形になり始めます。「ゴッチャ」(Goccia: イタリア語で「しずく」と呼ばれるルーフでキャビンを取り囲み、構造的な強度と剛性を確保します。この工程用に製作された装置にボディを載せ、これ以上はないほど厳しい許容誤差で 2 日間かけてすべての寸法とパラメータを測定・記録します。この場所では過去 20 年間、こうしたやり方を貫き、名車を生み出してきました。測定が終了したボディはシャーシから取り外され、専用の塗装工程に送られます。

塗装には通常 3~4 週間かかります。新たな塗装用コンパウンドと多層メタリック仕上げを用い、アウトモビリ・ピニンファリーナの拠点であるイタリア・ピエモンテ州から着想を得た 28 色の内の 1 色を塗装します。塗装用の特注装置に各パネルを取り付け、確実にカラーマッチングします。エクステリアの塗装を仕上げている間に、ダッシュボードとインテリアのアイテムを取り付けます。

5 番目のゾーンでは 2 日かけて車両全体の 80%まで組立を進めます。職人達は、人間工学に基づいて設計されたリフトと、リフトに装備された特注の治具を使用し、ホイールアーチやフラットアンダーフロアなどの厳しい許容誤差を達成します。複雑な形状のバタフライドアもこの工程で 2 日間かけて取り付けます。洗練されたデザインのドアは車両構造に不可欠であり、使用する装置はドアの重量を支え、複数の方向に傾けて確実に位置合わせできるように特別に設計されています。

次に、1 回目のエンドオンラインチェックとコミッションを実施します。特注のソフトウェアとツールを使用し、車両を「工場モード」にした状態で、すべての基準が満たされているかどうかを点検します。続いて「顧客モード」に切り替え、バッテリーの充電、インフォテインメント、アウトモビリ・ピニンファリーナが独自開発したサウンド「スオーノ・プーロ」(SUONO PURO)など、実際の機能が正常に動作することを確認します。

アトリエ内に設けられた最終ワークステーションでは、バットισταをリフトで持ち上げ、24 時間かけてホイールとステアリングのアライメントを完了します。各車両はその後、ウォーターマネジメントエリアに送られ、強度に関係なく、水が車両に浸入しないことを確認してから最終承認され、デジタルログの完了となります。

エンドオブラインの品質チェックは完璧さにこだわる専門家が担当し、機能試験、ライトトンネルでの徹底的な外観評価、路上試験などを実施します。バットιστα用の GT テストプログラムでは、オーナーが実際に走行するであろう様々なタイプの道路や路面を想定した専用ルートで1台1台を評価します。それぞれのバットισταは同じテストドライバーが詳細に検証します。テストプログラムが終了すると、バットισταはカンビアーノに戻され、保護ラップが取り外され、最終的な見栄え点検の後、クライアントに納車されます。

アウトモビリ・ピニンファリーナのチーフプロダクト&エンジニアリングオフィサーであるパオロ・デラーチャは次のように述べています。「バットισταで目指したのは、新しいタイプの魅力的な『グランツーリスモ』でのドライビング体験でした。電動化がもたらす前例のないパワーをフルに活かしたバットισταのドライビングは、このハイパーGT の姿とディテールに注がれたデザインチームの素晴らしい仕事ぶりに相応しいものです」

「すべての工程で品質を最優先しました。ワールドクラスの技術的構成部品の製作から、バットιστα開発プログラムの過酷な試験に至るまで、アウトモビリ・ピニンファリーナのチームは、自分たちが初めて世に送り出すこの素晴らしいクルマで、お客様に一瞬一瞬を楽しんでいただきたいと考えました」

お一人お一人にビスポークの醍醐味を

バットισταのオーナーは実際にバットισταアトリエを訪ね、自身のバットισταを製作するチームに会い、彼らと協力して好みのデザインを選び、製作の様子を目にすることができます。このコミッションングサービスはバットισταのオーナーだけが体験できる特権です。

クライアントは製作チームとの掘り下げた話し合いを通して理想のバットισταをカタチにします。各クライアントに対しては、クライアントをカンビアーノに招待する前にビスポークデザインが提案され、デザイナーらと直に話し合いをする中で、最終的な仕様が決定されます。

アウトモビリ・ピニンファリーナのチーフデザインオフィサーであり、各クライアントと協力して理想のコンフィギュレーションを完成させる役割を担うデイブ・アマンテアは次のように述べています。「バットισταは1台1台がビスポーク仕様です。我々はバットισταに情熱を注ぐデザイナーとして専門知識や見識をクライアントの皆様と共有したいと考えています。デザイン哲学『PURA』(イタリア語で「ピュア」の意)をお伝えし、クライアントとの共同作業によって、クライアントの個性を反映した夢の仕様を実現します」

「お客様にとっては非常にパーソナルな体験であり、無限に近いオプションからお選びいただく際には、お客様のインスピレーションを刺激し、記憶に残る体験をしていただくことが私たちの大切な役目です。そうしたプロセスを経ることによって、各オーナーのパーソナリティを反映し、真の相棒となる世界に1台のバットィスタが完成します」

製作エリアの隣にはエクステリアカラー、インテリアカラー、素材などの各種オプションを指定できるコミッショングラウンジがあり、豊富なサンプルを見て触れることができます。エクステリアのために用意された「バットィスタ・エクステリア・ジュエリー・パック」を選択したり、ブレーキキャリパーの色やホイールのカスタム仕上げなどの指定も可能です。エクステリアの仕様は「13.9×10の18乗」通りほどの組み合わせがあります。

インテリアはカラーの他、革、アルカンターラ、アルミニウムなどの素材、エングレービングの組み合わせが1億2800万通りもあり、世界に2つとないバットィスタに仕立てることができます。その唯一性がバットィスタの投資ステータスをさらに高めます。その礎となっているのは、収集価値のある傑作車を生み出してきたピニンファリーナの輝かしい歴史です。

カラー&マテリアルデザインディレクターであるサラ・カンパニユーロは次のように述べています。「バットィスタの製作は、真のパーソナライゼーションとクラフトマンシップをまったく新たな領域に展開する機会となりました。革新的技術とピニンファリーナが誇るデザインの伝統を融合することは私たちに与えられた特権であり、そのために使用する持続可能な材料やプロセスは今後のプロジェクトの向上と推進につながります」

バットィスタの設計・製作の状況については、アウトモビリ・ピニンファリーナのクライアントリレーションチームから各クライアントに最新情報が直接通知されます。

比類なきオーナーシップ体験

アウトモビリ・ピニンファリーナのクライアントサービスではバットィスタを生涯所有するための保証が提供されます。アフターセールスに360度のデジタルアプローチを採用し、部品・保証管理、トレーニング、リモート診断などを含め、世界各地のリテラーパートナーによってオーナーに安心を提供します。北米、ヨーロッパ、中東、オーストラリア、アジアにサービス拠点を構え、世界のどこであろうとクライアントをサポートします。

専門技術を要する問題が生じた場合は、クライアントとバットィスタのために世界中どこでも「フライングドクター」が飛んで行きます。バットィスタについて豊富な知識を持つフライングドクターは、バットィスタの開発段階にゼロから参加し、オーナーズマニュアルやリテラーパートナー向けワークショップマニュアルの制作にも携わってきました。

オーナーのための包括的なアフターサービスパッケージとして「エツツェレンツァ (Eccellenza)」、「フーツラ (Futura)」、「エテルナ (Eterna)」の3種類が用意されます。

- **エツツェレンツァ**: 5年または10年の専用メンテナンスプログラムです。すべての車両機能とコンポーネントの安全性と信頼性を確保し、最適なパフォーマンスの提供とバットィスタの保証および価値を保護します。

- **フーツラ:** バッティスタのバッテリーとパワートレインの延長保証です。アウトモビリ・ピンファリーナが提供するこの延長保証により、通常の3年保証よりも保証期間が7年長くなり、さらなる安心を得られます。
- **エテルナ:** バッティスタのオーナーシップ体験と長期的価値をより充実させるためのソリューションです。「エテルナ」プログラムでは、バッティスタのコンフィギュレーション時に注文できる、交換用ボディパーツキットを取り付け可能な状態で提供します。このキットはオーナー指定のコンフィギュレーションに合わせて製造され、組立時に塗装されます。

世界各地のお客様へのバッティスタの納車は今夏に開始されます。ピュア EV ハイパーGT のボディスタイルは「プーラ (Pura)」、またはボディデザインパッケージ「フュリオサ (Furiosa)」のいずれかとなります。150 台限定で生産されるバッティスタの中に バッティスタ・アニヴェルサリオ が 5 台含まれます。バッティスタ・アニヴェルサリオはデザイン業界に功績を遺したバッティスタ・"ピニン"・ファリーナへの敬意を示す仕様となっています。バッティスタ・アニヴェルサリオは 5 台とも完売しています。

以上

プレス用問い合わせ先

Dan Connell

チーフ・ブランド・オフィサー

(M) +49 (0) 160 553 0318

d.connell@automobili-pininfarina.com

Franziska Queling

グローバル・ヘッド・オブ・パブリック・リレーションズ

(M) +49 (0) 171 265 4094

f.queling@automobili-pininfarina.com**詳細については、右記をご覧ください**automobili-pininfarina.com/media-zone**編集者注**

アウトモビル・ピニンファリーナのバッテリー (PRESS KIT LINK)

バッテリーは、これまでにイタリアで設計・製造された車両の中で最もパワフルであり、内燃エンジン技術を搭載する現代の公道仕様スポーツカーでは達成できない水準のパフォーマンスを発揮します。0-100km/h 加速は現行 F1 レースカーを凌駕する 2 秒未満、最高出力 1,900 馬力、最大トルク 2,360Nm を誇り、ゼロエミッションパッケージで究極のエンジニアリングとテクノロジーを両立します。バッテリーは各ホイールに 1 基ずつ計 4 基の電動モーターがあり、120kWh のバッテリーから電力が供給されます。WLTP 複合モードの航続距離は 1 回の充電で最長 476km (296 マイル) です。イタリア・カンピアーノにあるバッテリーアトリエにて、150 台限定のバッテリーが 1 台ずつ手作業で製作されます。

アウトモビル・ピニンファリーナについて

アウトモビル・ピニンファリーナは、ドイツのミュンヘンに事業本部を置き、ラグジュアリー／プレミアム・カーブランドで豊富な経験を積んだ自動車エグゼクティブチームを擁しています。デザインとエンジニアリングはイタリア国内で行われ、手づくりされるハイパーGT「バッテリー」と今後の全モデルは、すべての主要グローバル市場で「ピニンファリーナ」のブランド名で販売されます。世界で最もサステナブルで最も熱望されるラグジュアリーカーブランドを目指す新会社です。

同社はマヒンドラ&マヒンドラ社 (Mahindra & Mahindra Ltd) が 100% 出資しています。